

令和5年度 手取川・梯川水系流域治水協議会

議事概要

1. 日時：令和6年3月18日（月）14：00～15：00
2. 場所：各機関よりWEB会議での開催
3. 出席者：別紙「出席者一覧名簿」のとおり
4. 議題
 - (1) 規約改正(案)について
 - (2) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクト2.0(案)について
手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて
 - (3) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクトにおける各機関の取組状況について
梯川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況について
 - (4) 流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化(案)について
 - (5) その他（今後の予定について）
5. 議事概要
 - (1) 規約改正(案)について
手取川・梯川水系流域治水協議会の規約改正(案)について【資料－1】を用いて事務局より説明した。
説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。
 - (2) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクト2.0(案)について
手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて
○手取川・梯川水系流域治水プロジェクト2.0(案)について
手取川・梯川水系流域治水プロジェクト2.0(案)について、【資料－2－1】を用いて事務局より説明した。
説明内容について構成員から意見、質問はありませんでした。

○手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて
手取川・梯川水系流域治水プロジェクトについて、【資料－2－2】を用いて事務局より説明した。
説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。

(3) 手取川・梯川水系流域治水プロジェクトにおける各機関の取組状況について
梯川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況について

○手取川・梯川水系流域治水プロジェクトにおける各機関の取組状況について

手取川・梯川水系流域治水プロジェクトにおける各機関の取組状況について【資料一
3-1】を用いて各機関の代表的な取組について説明した（各機関担当者）。

<北陸地方整備局 金沢河川国道事務所>

※資料の説明

<国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 金沢水源林整備事務所>

※資料の説明

<林野庁 近畿中国森林管理局>

※資料の説明

<石川県 土木部 河川課>

※資料の説明

<石川県 土木部 砂防課>

※資料の説明

<石川県 農林水産部 森林管理課>

※資料の説明

<石川県 農林水産部 農業基盤課>

※資料の説明

<金沢市>

※資料の説明

<小松市>

※資料の説明

<白山市>

※資料の説明

<能美市>

※資料の説明

<野々市市>

※資料の説明

<川北町>

※資料の説明

<金沢地方気象台>

※資料の説明

<北陸電力株式会社>

※資料の説明

～出席者からの質問～

- ・令和6年能登半島地震対応で工事の進捗が遅れるということはないか。

～事務局からの回答～

- ・工事は当初計画の予定通りの工程を進める予定でいる。

○梯川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況について

梯川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況について【資料-3-2】を用いて事務局より説明した。

説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。

(4) 流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化(案)について

流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化(案)について【資料-4】を用いて事務局より説明した。

説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。

(5) その他(今後の予定について)

今後の予定について【別紙】を用いて事務局より説明した。

説明内容について、構成員から意見、質問はありませんでした。

6. 流域治水に対する意見

<小松市長>

- ・本市では、内水対策を中心としたハード対策、住民避難等のソフト対策に取り組んでいる。
- ・ハード対策は、九龍橋川の雨水排水ポンプ増強について、今年9月末の完成を予定している。また、石橋川の遊水地整備については、令和7年度完成に向けて工事を進めている。

- 令和6年度に雨水管理総合計画を策定し、優先度の高い地区から計画的に浸水対策を推進していく。
- ソフト対策は、住民避難の対策として、中小河川における浸水想定区域を含む洪水ハザードマップを改定し、洪水期前に全戸配付する予定である。加えて、令和6年度には内水ハザードマップの策定を予定している。
- ワンコイン浸水センサについては、本市も実証実験に参加し、市内に73箇所設置することとなった。浸水箇所の早期把握、迅速な情報発信など、今後の水防活動に大いに活用していきたい。
- また、小松市立地適正化計画、防災指針の検討を行っており、令和7年度に改定を予定している。
- R4.8 豪雨を踏まえ、特定都市河川指定について、能美市と連携し、検討を進めていきたい。

<白山市長>

- 市街地の浸水対策として、雨水排水路整備を継続実施するとともに、水害リスクの解消に向けて、内水浸水想定区域図を追加したハザードマップの更新作業を進めている。
- 本庁舎の防災対応力の強化を図るために、来年度より、(仮称)防災センターの建設に着手をする予定である。
- 令和6年4月から地区公民館をコミュニティセンターに移行し、防災を軸とした地域コミュニティ活動を支援し、地域の防災力の向上に取り組んでいく。

<能美市長>

- 今年度、中小河川の浸水が想定される区域を含んだ洪水ハザードマップを更新したほか、今年の梅雨時期までには、西川流域において調整池を2基造成する工事を完成させる。
- また、治水協力協定に基づく宮竹用水の事前停水と併せ、河川の最大水位の抑制に努め、着実に浸水被害の軽減を図っていきたいと考えている。
- 下水道施設の排水能力を上回る大雨が予想される際の浸水想定区域図や、浸水対策の総合計画である雨水管理総合計画の作成に着手するほか、田んぼダムにおける市独自の实証試験を通して、作付けへの影響を検証していく。
- 梯川の特定都市河川の指定については、効果的な対策につながるよう、小松市としっかり連携をして検討をしていきたいと考えている。

〈野々市市長〉

- 今年度は、田んぼダム、雨水浸透・貯留施設、これらに対する市独自の補助制度を設けて取り組みを推進している。
- 特に田んぼダムは、市街化区域、市街化調整区域内の両方にわたってこの補助制度を利用頂き、進めていく予定である。国土交通省や農林水産省など補助制度の支援の拡充に対応していただくようお願いをしたい。
- また、市民、企業等への補助制度の周知を図りながら、国土交通省と共に流域治水の考え方、取り組みについて広報活動に努めていきたい。

以 上

